

## 第3回、第4回公開講座の活動報告

高知女子大学看護学会公開講座「やってみてわかる！データ分析」共催：高知県立大学  
今年度は、質的研究2回、量的研究2回の4回シリーズで開催されました。

### 第3回 データの量的な分析 「入力シートが左右する研究の方向性」

日時：平成26年9月20日（土） 9：30～12：30

場所：高知県立大学 池キャンパス 看護福祉棟 206 教室

講師：久保田 聡美（高知県立大学特任准教授）

参加者：51名

第3回の公開講座は、データの量的な分析の初級編として、講師の久保田聡美先生から、目的に応じた研究デザインや仮説の構築、分析方法についてご講義いただきました。また、データの分析をおこなうまでに必要な、質問紙を作成する際の留意点、研究結果に影響するバイアスなどを具体的に説明いただきました。

参加者の方々からは、「母集団と標本の関係やバイアスについて改めて確認でき研究計画に反映できる」、「陥りやすい現象についてなどよくわかりました。また母集団のことについても、テーマを一般化するためには、文献検討が必要だと思いました」、「基本的な考え方、注意すべきポイントがわかった。」という意見や感想をいただきました。



## 第 4 回 データの量的な分析 「入力シートが左右する研究の方向性」

日時：平成 26 年 9 月 20 日（土） 13：30～16：30

場所：高知県立大学 池キャンパス 看護福祉棟 206 教室

講師：井上 正隆（高知県立大学看護学部助教）

参加者：34 名

第 4 回公開講座は、第 3 回（午前中）に引き続き、データの量的な分析を行いました。今回は中級編として、講師の井上正隆先生に、統計方法の選び方、統計分析の読み方について、分かりやすくご講義いただきました。演習では、論文の表やグラフから検定の方法を理解することができ、参加者の方々にとって、日頃の研究活動につながる機会となりました。

参加者の方々からは、「グラフの読み方とおして、回帰分析、分散分析の基礎が理解できた。検定について分かったのが良かった」、「検定の種類と読み取り方が理解でき、論文の効率的な読み方も理解できた。ガイドシートが分かりやすく今後の参考になる」、「楽しく参加することができました。実際の分析方法について演習をまじえて教えていただきとても理解しやすかったです。」と好評をいただきました。今後も皆様の研究活動にお役に立つことのできる講座を開催していきたいと思っております。

